

p290 「一問一答」

1. アミノピリン、スルピリンが配合されたアンプル入りかぜ薬で間質性肺炎が報告され、アンプル入りかぜ薬の回収が要請された。
2. 小柴胡湯とインターフェロン製剤の併用例による間質性肺炎が報告されたことから、両者の併用は禁忌となった。
3. 小柴胡湯とインターフェロン製剤の併用例による間質性肺炎が報告されたことから、関係製薬企業に対して緊急安全性情報の配布が指示された。
4. 塩酸フェニルプロパノールアミン含有医薬品で、脳出血等の副作用症例が複数報告されたことから、代替成分としてブソイドエフェドリン塩酸塩等への速やかな切替えが指示された。
5. 毎年10月17日～23日の1週間、薬物乱用防止を一層推進するための「ダメ。ゼッタイ。」普及運動が実施されている。
6. 薬物乱用や薬物依存は、麻薬や覚せい剤、大麻等の違法薬物だけでなく、一般用医薬品によっても生じることがある。
7. 薬物乱用の危険性や医薬品の適正使用の重要性等に関する知識は、小中学生のうちから啓発することが重要である。

【解答】

1. × アミノピリン、スルピリンが配合されたアンプル入りかぜ薬で、ショックにより 38 名の死亡例が発生し、アンプル入りかぜ薬の回収が要請された。

2. ○

3. ○

4. ○

5. × 毎年 10 月 17 日～23 日の 1 週間は「薬と健康の週間」。医薬品の持つ特質及び使用・取扱い等について正しい知識を生活者に浸透させることにより、保健衛生の維持向上に貢献することを目的として広報活動やイベントが行われる。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動が行われるのは、毎年 6 月 20 日～7 月 19 日の 1 ヶ月間。

6. ○

7. ○